

## 山岳救助隊・県防災航空隊連携訓練を実施

奈良県広域消防組合消防本部

奈良県広域消防組合大淀消防署・下市消防署は平成28年8月1日、県南部の4消防署山岳救助隊・県防災航空隊連携訓練を実施しました。

この訓練は、今年から制定された「山の日」を目前に控え、増加する山岳救急救助事案において、消防本部（指揮支援隊）、山岳救助隊及び県防災航空隊が連携し、迅速かつ安全な救助活動の実施を目的として実施したものです。

山岳救急救助は、天候や災害地点によって活動内容も大きく変化するため、今後も隊員の技術の向上と山岳救助体制の更なる拡充を図っていきます。



## 中京大学生が機能別消防団員として入団

豊田市消防本部

中京大学豊田キャンパスに通う学生40人が、平成28年8月1日から豊田市消防団学生機能別団員として活動を開始しました。

学生機能別団員は、大規模災害時にキャンパス内に設置が想定される避難所等の運営、規律訓練、救命講習の受講及び出初式・観閲式等の行事への参加を主な任務としています。また、大学の特色を活かした取組として、自衛消防組織の「学生自衛消防隊」への登録や、よさこいチームによる消防団PR活動も行います。



## 消防通信

## 望

## 楼

## ぼうろう

## 救急フェアを開催しました!!

泉州南広域消防本部

泉州南広域消防本部（竹内 寛二消防長）では、9月3日に市内大型物販店舗で救急フェアを開催しました。当消防組合を構成するマスコットキャラクターたちに、消防長から一日救急隊長を委嘱し、救急に困んだ〇×クイズ大会や、心肺蘇生法実技体験コーナー、子どもたちが現場外套等を着てマスコットキャラクターたちと写真を撮るなど、各種体験コーナーを設けて、応急手当及び救急車の適正利用についてのPRを行いました。



## ハイブリッド車等事故発生時対応講習会を実施しました

埼玉西部消防局

所沢中央消防署は9月17日、埼玉トヨタ自動車株式会社からエンジニアを講師として迎え、ハイブリッド車及び燃料電池自動車の概要や消防活動時の注意点などを学びました。

管内に水素ステーションが設置されたため、今後燃料電池自動車の増加が見込まれることを考慮し、交通事故等で乗員の救助等が必要となった場合に消防職員が高電圧バッテリーによる二次災害にあわず、安全かつ迅速に救助活動ができることを目的として開催しました。

車両概要の座学講義を受けた後、実車確認をしながら注意事項等を把握し、有意義な講習となりました。



ハイブリッド車研修

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。  
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】